

# 設備投資「有」企業の割合は過去最低

DATA

今回は、商工中金調査部による「中小企業設備投資動向調査」(2009年7月調査)についてお知らせします。

下の折れ線グラフは各年度調査の修正計画における設備投資「有」の企業の割合の推移を示しています。2009年度は29.6%と調査開始以来最低値を記録しました。

なお、2009年度修正計画の設備投資「無」の理由を見ると「現状設備で十分」60.4%、「景気の先行き不透明」48.5%、「業界の需要減退」27.0%という結果が出ました。「現状設備で十分」と回答した割合は前年度から下がりましたが、「景気の先行き不透明」の回答割合は前年度から増大しています。

なお、2009年度修正計画で設備投資「有」の企業の設備投資目的に変化が生じています。昨年度と比べて「新製品の生産」「地球環境問題対応」の割合が上昇。エコ対応している企業がわずかながらでも増加していることが読み取れました。

